



# 北山田小だより



横浜市立北山田小学校  
校長 滝川 尚美

## 「豊かな心の成長を」

### ～居心地のよい学級、集団をつくる～

校長 滝川 尚美

朝、正門を通る子どもたちが、立ち止まって見せてくれるものが、タンポポの綿毛からダンゴムシになりました。子どもを取り巻く様々な環境が進化しても、何十年も前から変わりなくダンゴムシは子どもたちのアイドル？です。ちょっと触ると丸くなってころころ転がる姿が人気の秘密でしょうか。雨の季節、ダンゴムシは大きく成長するそうです。もうしばらくは、朝のダンゴムシ談義が続きそうです。

そして、先日は、授業参観にご来校頂きありがとうございました、また、4グループに分散しての参観へのご協力にも感謝いたします。今年度もご来校頂く機会をなかなか設けられず申し訳ありませんが、お子様の様子を少しでもご覧いただけたら幸いです。

さて、新年度が始まって、3か月が過ぎ、クラスの雰囲気も落ち着いてきたところです。学級目標ができた、係活動などクラスならではの活動が定着して来たり、それぞれ自分の属する集団の中での居場所を見つけ、活動を始めています。学級が一つの集団として機能し始めると、子ども同士の仲間意識が生まれ、同じ活動へ参加し、力を合わせ、物事を成し遂げていくことが自然になされていきます。そこで、子どもたちは様々な課題にぶつかります。その解決のためには、相手との関係を作り、役割を分担し、相手の気持ちに配慮しながら自分を主張する技能（「社会的スキル」）が必要になります。こうした技能は、友達とのいろいろな活動を通して自ずと身に付いていくものです。つまり、子どもたちがぶつかり合い、理解し合い、励まし合い、助け合っていく、そのプロセスを踏むことが、子どもの社会的スキルを上げ、豊かな心の成長を促すと考えます。

#### <自尊感情、自己肯定感を高め、未来を創り出す力>

○交流し協働できる力

○自ら考え、行動し、課題を解決する力

○自分の価値を認め、評価できる力

本校では、教育課程全体で育成をめざす資質・能力として、次のようにとらえ、教育活動に位置付けています。学級の中での活動だけでなく、「フレンドチームによる全校遠足」や「1・2年生による学校探検」などの異学年交流もその一つです。ただ、子どもたちが安心してそういった力を身に付けていく

ためには、生活の場である学級集団、そして、学校が、居心地のよい、温かな包容力を備えていることが必要です。一人ひとりが自分らしさを発揮し、活躍できるような開放的な人間関係があることが、子ども同士の仲間意識を高め、ともに力を合わせ、物事を成し遂げていこうとする推進力につながるからです。

先日の朝会で、リーダーシップ委員会が全校に「居心地のよいクラスづくりのために、できることを考えよう」と投げかけました。いじめ予防週間の取組でもありましたが、リーダーシップ委員会の児童が自主的に発信してくれたことがとてもうれしかったです。子どもたちの自律的取組が、何より子どもたちを成長させることでしょう。今のところ次のような取組があげられています。

#### ○全員挨拶

○感謝を伝える(ありがとうBOX)

○毎日帰りにだれかにしてもらって嬉しかったこと、頑張ったことをみんなの前で話し、ほめ合う

○気持ちを込めて掃除をする

子どもたち自身が、一人ひとりを大切にしようとの意識を高め、居心地のよい集団づくりに取り組む様子を見守っていきたいと思います。

